

アンケート集計結果

実施日:2012年10月19日(金)

場 所:大隈記念講堂小講堂

名 称:イクメンによるワークライフバランス講座第2弾

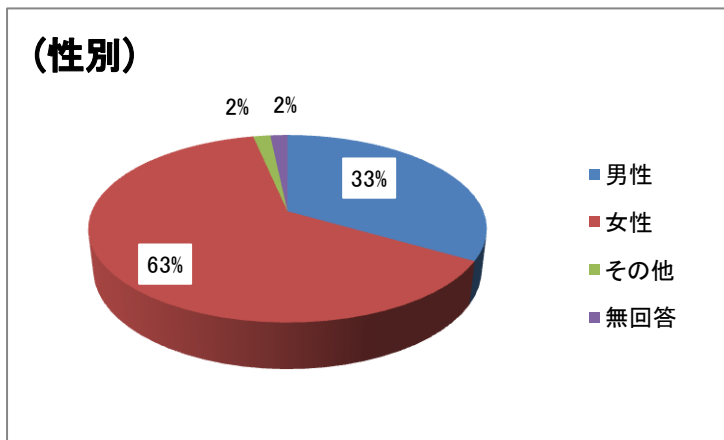
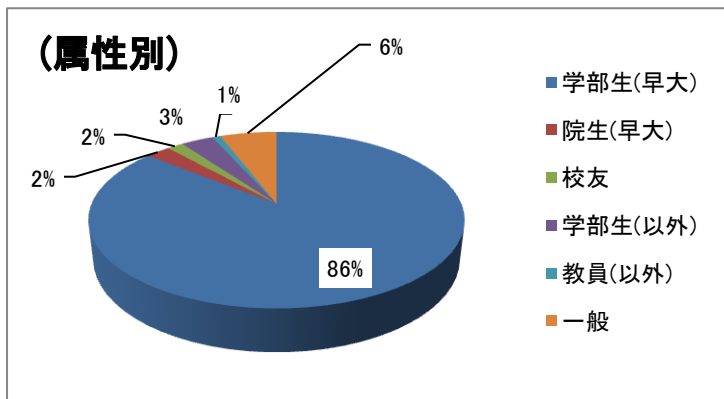
「これからの日本企業での働き方～ダイバーシティ・マネジメント実践術～」

来場者総数:217人(教職員・一般 34人 学生 183人)

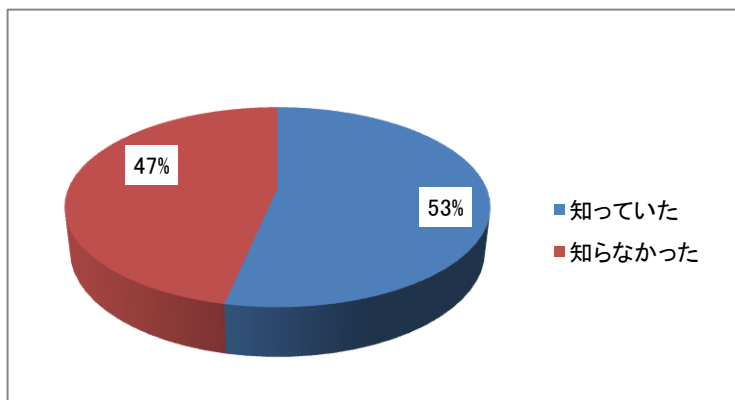
アンケート回答数:120件(回答率55.3%)

※表中ならびにグラフ凡例の「(以外)」とは「早稲田大学以外の大学」の略とする。

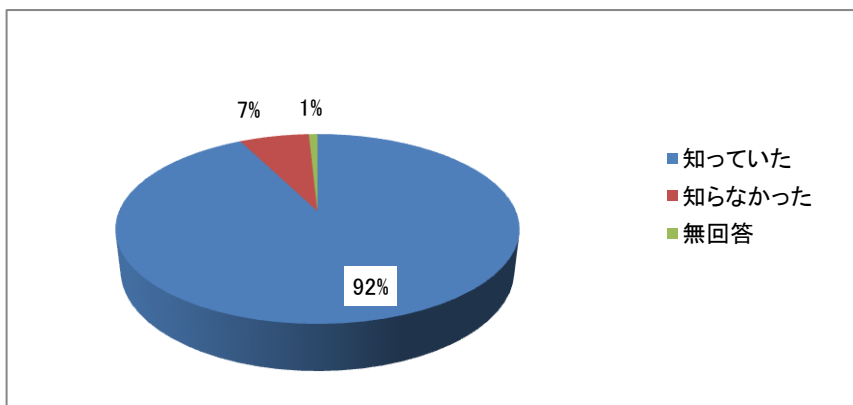
1. 来場者の内訳について



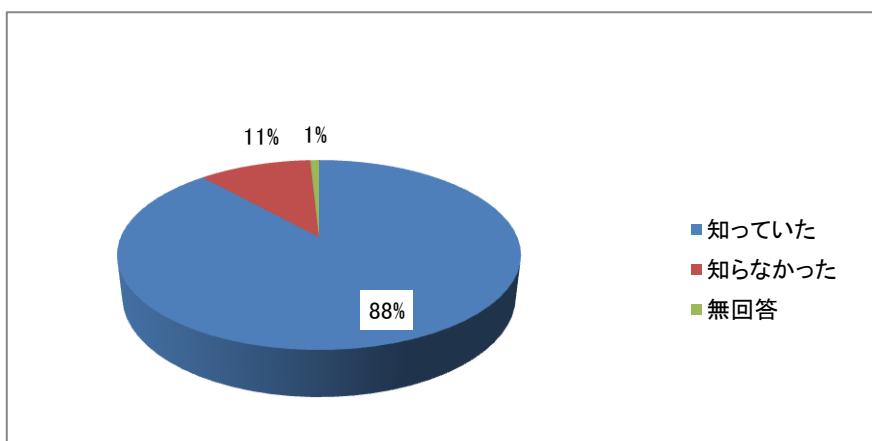
2. 「ワークライフバランス」という言葉・意味の認知度について



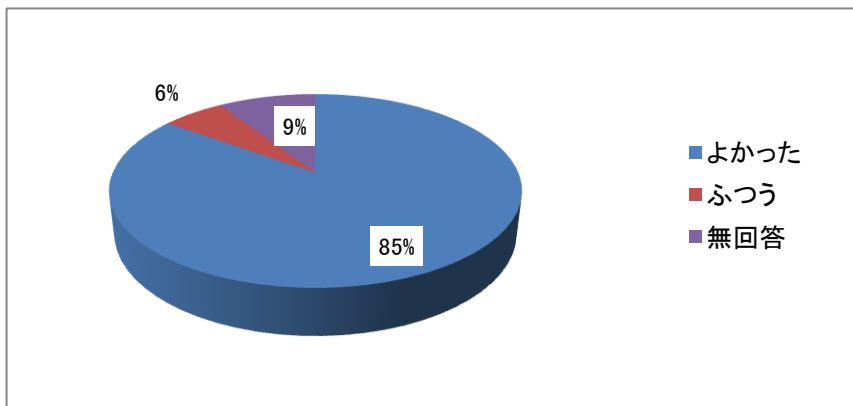
3. 「イクメン」という言葉・意味の認知度について



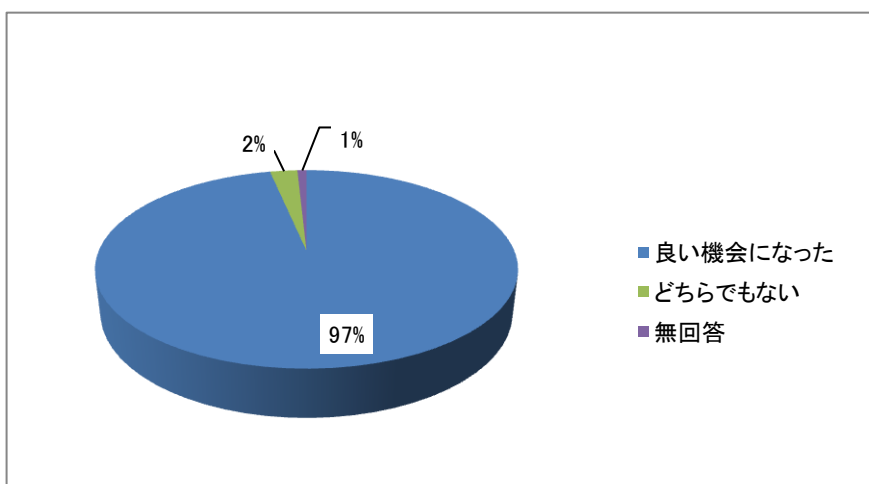
4. 「男女共同参画」という言葉・意味の認知度について



5. 講演会の内容について



6. ワークライフバランス・男女共同参画について考える良い機会となったか？



7. 講演会の感想(自由記述)【抜粋】

◆学部学生(男性)

- ・自分の考え方が180度変わりました。
- ・とても密度の濃い講演でした。渥美さんの実体験も踏まえたうえでのお話、とても面白かったです。
- ・WLBが社会に浸透することの必要性を感じました。現状では、まだまだ実現できていない段階なのだろうと思います。私も、社会でWLBを実践し、闇夜を照らせる松明になりたいと思いました。考えを実行できるよう闘いたいです。
- ・仕事への考えが変わった。妻をリスペクトすることの大切さが分かった。
- ・男女の共同参画のみならず、地域社会に生きる人としてのあり方というものに、ほぼ初めてといってよいほどマジメに考えさせられ、教えられた会でした。大変勉強になりました。
- ・わかりやすく、おもしろい内容でとてもためになりました。介護や育児に対して積極的に良く考えて関わっていきたくと考えさせられました。
- ・今後仕事につき、機会があれば、結婚し、子どもができた時のために今のうちにもっておくべき心得ができ、大変よかったです。
- ・今まで男女共同参画について全く考えたことがなく、将来自分が直面するであろうと思いながら聞いていたら、夫婦同士の理解と同時に会社など周りの人も理解する社会になるべきだと思いました。
- ・「子どもは地域で育てる」という意識が希薄になりつつある中、その重要性を提起した氏に大きく共鳴した。閉鎖的な環境は子ども、親双方にとって不幸の温床だと考える(虐待に気づかない等)。社会全体で人々が地域社会に出やすい雰囲気醸成することが肝要だと思う。
- ・実際に育児休暇をとった人の意見を聞いたことは貴重だった。「理論」を聞くのもそれはそれで大切だが、生の声はとても新鮮だった、自分の意識と社会が思っている以上にズレていることにも気づかされた。もっと、日本全体の意識としてWLBを重視しようという流れになっている気がしていた。

◆学部学生(女性)

- ・今まで参加した講演会の中で一番心に残る講演会でした。ワークライフバランスについて考えさせられました。(ほか多数)
- ・講演の中で一番印象に残っているのは「人間関係は全てリスペクトだ」という言葉です。この言葉を聞いて、自分の中で上手くいかないなとモヤモヤしていたいろいろな場面での人間関係を前向きに変化させていける気がしました。(他1名)
- ・最近女性社会進出し、「育児」の部分ばかりが目立っていますが、本当は、育児に始まり、介護という問題がこれからの日本にひそんでいるということを再認識できました。ワークライフバランスは育児をする女性に対しての言葉のようなとらえ方でしたが、実際はこれからの日本に生きる人は皆が意識しなければならないと感じました。育児は終わりが見えますが、介護は終わりが無いのも難しいところですね。
- ・結婚はまだ身近な将来だと思っていたが、介護は遠い未来だと考えていたが、渥美さんのお話をきいて、結婚だけでなく介護も見据えた就職も必要だと思った。育児と介護は親に恩返しをするチャンスだというお言葉にすごくはっとしました。人生を考える良いきっかけになりました。ありがとうございます。
- ・子育てって大変なイメージしかなかったけれど、良いパートナーが見つければ、とても幸せな時間、経験なのかもと思いました。
- ・イクメンの話聞く機会はなかなかないので今回話を聞くことができてよかったです。渥美さんのような考えをもった男性がもっと多くなればいいなと思います。
- ・渥美さんの考え方を聞くと、物事は見え方を変えることによってうまく進んでいくのかと納得する部分がたくさんありました。「幸せ」は不幸が起きないことではない、という言葉が印象的でした。
- ・ジェンダー、仕事の枠だけでなく、人生全体に関わるお話だったと思います。よかったノート、ポイント制(母と)を実際

やってみようと思います。

- ・演題から想像されたものは女子学生向けの就活生セミナーのようなものだったが、人生観を変えさせられるようなお話を聞いて良かったと思います。資本社会についても人間を中心の社会がありうるのだと感じた。
- ・素晴らしい講演でした。本当に来てよかったです。今のパートナーと家に帰って共有しようと思います。「WLB は正しいことだ」という渥美さんの力強い声は社会に出て絶対忘れません。とても励まされました。
- ・本当に育児の苦勞を理解できていない学生である私にも何かできる事があるのではないかと、夫と妻の関係のみならず、年の離れた弟の育児に携わることができたりするのではと思いました。
- ・とても良い講演だったと思います。私は育児も男女平等にやっている方のお話を聞くのは初めてだったので、とても興味深かったと思います。イクメンという言葉は聞いたことはあったのですが、その視点からのお話は女性としての自分の視点とはまた違った発見がありました。
- ・ワークライフバランスはシステムだけの問題ではないということ強く感じました。
- ・イクメンが自分の子どもだけを育てるのではなく、地域の子どもたちも成長させていかなければならない、という話が少し新鮮で、地域とイクメンの関わり合いに興味を沸かせてきました。WLBは人口減少の今こそ、一人一人の役割を考える上で重要なことだと思いました。
- ・渥美さんのことは以前から存じあげていましたが、このような経歴(子育てや地域とのかかわり)をお持ちだとは思っていませんでした。WLBのことはもちろん、「地域づくりって何なんだろうな」ということをすごく考えました。ぜひ、将来のパートナーにも聞いてもらいたい講演でした。
- ・私も地域のおばあちゃんになりたいという夢があります。子ども会のお話ためになりました。
- ・大変参考になりました。このように生活や仕事のことを捉えて行く人たちが増え、様々な人々が働きやすく、充実した生き方が出来る社会になれば良いと思いました。
- ・渥美さんの「幸せ」は不幸が起きていないことではないという言葉が胸に響きました。育児も介護もまだ自分は体験していませんが、いずれ必ず通る道について、貴重な体験談、身をもってわかった教訓を聞いてよかったです。
- ・ワーク&ライフ、バランスを推進している企業でインターンをしているのですが、今回の講演はとても共感しました。バランスではなく相乗効果なのですよね。
- ・男女共同参画を進めること、一人一人が望む生き方ができるような社会になることが本当に重要だと思います。日本の社会の意識を変えること(「女だけが家事育児をやるべき」→男女で)は、すぐにはできることではないので、これからどのように意識作りをしていけばいいのか考えています。
- ・自分が働くということやパートナーとどのような関係を築いていくか、改めて考えていくきっかけになりました。
- ・結婚や子育ては私たちにとってあまり遠い未来の話ではありません。考えさせられることが多かったです。興味深かったのは、地域活動についてです。「イクメン」と聞いて、「仕事と育児を両立させている人」というイメージでしたが、地域とも関わりをもって積極的に活動していくことも含めて「イクメン」と呼べるのだと思いました。
- ・自分の人生の「持続可能性」を考えることが大切だと思いました。目先の利益ではなく、長期的な目線で、問題を乗り越えた時に笑顔でいられるようなリスクマネジメントをしようと思いました。また、「幸せ」の定義が自分の中で変わり、とても有意義な時間となりました。
- ・男女共同参画社会についての話から、介護や看護についての話まで、本当に貴重なお話が聞けたと思っています。特別に何を書けばよいのかわかりませんが、それくらい感動でいっぱいです。これからも応援していきます。また、ぜひお話を聞かせていただきたいと思いました。私も精一杯生きていきたいなと思いました。

◆学部学生(その他)

- ・WLB の話だけではなく、人生においても大事なお話でした。

◆学部学生以外からの回答

- ・現在 9 カ月の娘を持ち、育休中です。来月復職するにあたり、WLB の考え方をとらえ直す良い機会となりました。(校友・女性)
- ・育児について反省することばかりです。学生のときにこのような講演を聴講できず早大の学生のみなさんがうらやましく感じました。(校友・男性)
- ・実体験を交えた内容(育児だけでなく介護も体験している)メディアを通じてより、ずっと価値観を受け取りました。(一般・女性)
- ・心に残った言葉「グチから生まれる連帯感」「ポイント制」「変えられない相手を受け入れる冷静さ」「運命を引き受けなさい」「良かったノート」「育児は成長があり楽しみですが、介護は先が見えずしんどいものです」。どううまく切り替え、乗り切るか、大事ですね。(一般・女性)
- ・自分の苦労を思い出しながら拝聴しました。こういった話は女性が語ると男性ばかりを責めるようにもなりがちなので、男性からのお話はイクメンを育てる大きな効果があると思いました。(一般・女性)

10. 今後、推進室に開催してほしい催しについて(自由記述)

- ・また、渥美さんのお話を聴きたいです。
- ・男性の育休について、女性が働くことについて、特に年配の男性がどう思っているかの本音を聞くチャンスがなかなかないので、あれば面白いと思う。
- ・授業の一環として、今日のような講演などをもっと多く盛り込んでほしい。常に新しい知見を学生に提供できるように、授業のような形態を入りに様々なイベントを催してほしい。

以上